

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 12 月 28 日 (2006.12.28)

【公開番号】特開 2005-162992 (P2005-162992A)

【公開日】平成 17 年 6 月 23 日 (2005.6.23)

【年通号数】公開・登録公報 2005-024

【出願番号】特願 2003-407668 (P2003-407668)

【国際特許分類】

**C 1 1 B 9/00 (2006.01)**

**A 6 1 K 8/00 (2006.01)**

**A 6 1 Q 13/00 (2006.01)**

【F I】

C 1 1 B 9/00 Z

A 6 1 K 7/46 A

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 11 月 15 日 (2006.11.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

香料組成物の調香方法であって、香料組成物を構成すべき香料を、三種の群に分割し、該三種の香料群より、それぞれ少なくとも 1 種ずつの香料を選択し、これを混合する、香料組成物の調香方法であって、前記三種の香料群の内の一種が男性用の性格付けのための香料群であることを特徴とする、香料組成物の調香方法。

【請求項 2】

前記三種の香料群が、「ボディー」、「キャラクター」及び「男性用の性格付けのトッピング」の三種であることを特徴とする、請求項 1 に記載の調香方法。

【請求項 3】

前記「ボディー」の群が、「ブーケ」、「フロリエントル」、「オリエンタル」及び「シブル」の 4 種に分類されていることを特徴とする、請求項 1 又は 2 に記載の調香方法。

【請求項 4】

前記「キャラクター」の群が、「シトラス」、「フルティー」、「グリーン」、「フローラル」、「モダンフローラル」、「スパイシー」、「ウッディー」及び「アニマル」の 8 種に分類されることを特徴とする、請求項 1 ～ 3 何れか 1 項に記載の調香方法。

【請求項 5】

前記「男性用の性格付けのトッピング」の群が、「都会的」、「スポーティー」、「古典的」、「ナイフ」、「ロマン」、「情熱的」、「カジュアル」及び「ウォータリー」の 8 種であることを特徴とする、請求項 1 ～ 4 何れか 1 項に記載の調香方法。

【請求項 6】

香料組成物が男性用の香料組成物であることを特徴とする、請求項 1 ～ 5 何れか 1 項に記載の調香方法。

【請求項 7】

「ボディー」の群から選択された 1 種の香料を 4 質量部、「キャラクター」の群から選択された 1 種の香料を 1 質量部及び「男性用の性格付けのトッピング」の群から選択された 2 種の香料をそれぞれ 1 質量部の割合で混合することを特徴とする、請求項 1 ～ 7 何れか

1 項に記載の調香方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、このような状況下為されたものであり、専門知識なしに、イメージ通りの調香を為しうる技術を提供することを課題とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

このような状況に鑑みて、本発明者等は、専門知識なしに、イメージ通りの調香を為しうる技術を求めて、鋭意研究努力を重ねた結果、香料組成物の調香方法であって、香料組成物を構成すべき香料を、三種の群に分割し、内一種を男性用の性格付けをする香料群とし、該三種の香料群より、それぞれ少なくとも１種ずつの香料を選択し、これを混合することにより、その様な調香が可能であることを見出し、発明を完成させるに至った。即ち、本発明は、以下に示す技術に関するものである。

(1) 香料組成物の調香方法であって、香料組成物を構成すべき香料を、三種の群に分割し、該三種の香料群より、それぞれ少なくとも１種ずつの香料を選択し、これを混合する、香料組成物の調香方法であって、前記三種の香料群の内一種が男性用の性格付けのための香料群であることを特徴とする、香料組成物の調香方法。

(2) 前記三種の香料群が、「ボディー」、「キャラクター」及び「男性用の性格付けのトッピング」の三種であることを特徴とする、(1)に記載の調香方法。

(3) 前記「ボディー」の群が、「ブーケ」、「フロリエントル」、「オリエンタル」及び「シブル」の４種に分類されていることを特徴とする、(1)又は(2)に記載の調香方法。

(4) 前記「キャラクター」の群が、「シトラス」、「フルティー」、「グリーン」、「フローラル」、「モダンフローラル」、「スパイシー」、「ウッディー」及び「アニマル」の８種に分類されることを特徴とする、(1)～(3)何れか１項に記載の調香方法。

(5) 前記「男性用の性格付けのトッピング」の群が、「都会的」、「スポーティー」、「古典的」、「ナイフ」、「ロマン」、「情熱的」、「カジュアル」及び「ウォータリー」の８種であることを特徴とする、(1)～(4)何れか１項に記載の調香方法。

(6) 香料組成物が男性用の香料組成物であることを特徴とする、(1)～(5)何れか１項に記載の調香方法。

(7) 「ボディー」の群から選択された１種の香料を４質量部、「キャラクター」の群から選択された１種の香料を１質量部及び「男性用の性格付けのトッピング」の群から選択された２種の香料をそれぞれ１質量部の割合で混合することを特徴とする、(1)～(7)何れか１項に記載の調香方法。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明の調香方法では、「ボディー」の群から選択された１種の香料を４質量部、「キャラクター」の群から選択された１種の香料を１質量部及び「男性用の性格付けのためのト

「アップリング」の群から選択された２種の香料をそれぞれ１質量部の割合で混合することを特徴とする。この様な割合での混合では、香調のバランスを崩れることなく、調香することが可能である。この様な調香において、量比を間違えずに、正確に調香するためには、図２に示すシートを用いて、調香に用いた香料を記録しておくことが、再現性を確保する意味で好ましい。この様な、本発明の調香方法によって得られた香料組成物は、バランスが良く、自分の欲している香りを試行錯誤して調整する上でも、ボディーのイメージを認識することにより、極めて効率的に調香が行え、しかも、全く使えない香料組成物には至らないので、極めて好ましい。更に、シートさえあれば、複雑な機器や操作もいらないので、一般人でも容易に調香が為しうる。かくして得られた香料組成物は、男性用の香料組成物として極めて有用である。本発明の調香方法によって得られる香料組成物は、希釈溶媒で希釈したり、シリカ、プラスチック或いは繊維等の吸収体に吸収せしめたり、任意成分とともに製剤化することにより、オーデコロン、香水等の身体用のフレグランス、カーフレグランスやルームフレグランスなどの空間用のフレグランスに加工することが出来る。